

# 西高30選 図書目録

- ①過去3年間の推薦書150冊の中から、個人の好みに合う30冊を選び、読破しましょう。  
・シリーズものは、何冊読んでも1冊とカウントします。  
・今年度の対象は2023～2025年度の作品です(過去のリストは図書館にあります)。
- ②選んだ本について、感想を裏面のコメント欄にしっかり記入してください。
- ③30冊読破してコメント欄記入も済んだ場合は、この用紙を図書館に提出してください。
- ④30選達成者には、年度末に表彰の上、副賞(図書カード)が授与されます。

岡山ゆかりの著者	1	<b>だから殺し屋は小説を書けない(岡崎準人)</b> 伝説の殺し屋・和尚に拾われ、自らも殺し屋となった青年・雨乞。盛夏のある日、駐在警官を始末する指令を受けたが、小さな違和感を抱き…。人生を変える24時間が始まった。	生きる	13	<b>藍を継ぐ海(伊予原新)</b> 今日も日本のどこかで、大切な何かを受け継ぐ人がいる。澄み渡るほど心が整う5話。直木賞受賞作。	ミステリー	25	<b>傲慢と善良(辻村深月)</b> 「かがみの孤城」の著者による恋愛ミステリー。日常生活では意識しない善良な行動や傲慢な行動など考えさせられる。(図書委員推薦)	学芸	37	<b>人は話し方が9割 2(永松茂久)</b> 話し方をちょっと変えるだけで、学校でもプライベートでもうまくいく。プレゼンテーションとは違う、コミュニケーションのコツを知ろう。
	2	<b>透き通った風が吹いて(あさばみゆき)</b> 野球部を引退し受験勉強に専念するはずだった漢哉は、将来の自分を思い描けず焦っているときに、美しいピアニスト・里香と出会う。岡山が舞台の、美しく儂いラブストーリー。		14	<b>介護の花子さん(あさばみゆき)</b> リアルな「介護の現場」のドラマを描いた、「働きたくなる」物語。一般入試で出題された作品です。		26	<b>ジョーカー・ゲーム(柳田司)</b> スパイの魅力が詰まっている!「D機関」シリーズの続編もあります!(図書委員推薦)		38	<b>わかったつもり 読解力が見つからない本当の原因(西林克彦)</b> 発売からほぼ20年たった2024年、なぜか再びこの本が大バズリ。「分からない」より「分かったつもり」の方がたちが悪いのだそうです。(教員推薦)
	3	<b>チェーン・ディザスターズ(高嶋哲夫)</b> 202X年7月、南海トラフ巨大地震が発生し、東京直下型地震が発生。さらに8月には大型台風が首都圏を襲う。最新の災害研究データが盛り込まれたリアルな小説。		15	<b>夜と跳ぶ(額賀澤)</b> スケートボードの金メダリスト・エイジと、スポーツカメラマンの与野。ある夜、渋谷で出会った二人はともに最高のトリックを追い求める。切り取れ、その一瞬を!		27	<b>謎の香りはパン屋から(土屋うさぎ)</b> 焼き立てのパンの香りが広がる、”日常の謎”ミステリー。読んでいるとパンが食べたくなくなるかも!2025年のミステリーがすごい!大賞。		39	<b>知の体力(永田和宏)</b> 「答えは必ずある」などと思っていけない。大学入試の小論文の課題文でも出題されており、大学進学を目指す高校生に読んでほしい一冊。(教員推薦)
	4	<b>博士の愛した数式(小川洋子)</b> 岡山出身の芥川賞作家による純文学。数式や記号を文学的に表現するところなるのかという、さまざまな新しい驚きを与えてくれた一冊。(教員推薦)		16	<b>また、同じ夢を見ていた(住野よる)</b> 昔から大好きな小説で、ぜひみんなにも読んでほしい。(図書委員推薦)		28	<b>地雷グリコ(青崎有吾)</b> 誰もが知っているグリコ、じゃんけん、だるまさんがころんだ等のミニゲームを、本格頭脳バトルに昇華!騙しと理詰めが勝利を導く最高傑作!このミス2025第1位。		40	<b>イタリア女子が沼ったジワる日本語(テシ・リッゾーリ)</b> 日本に恋したイタリア人が、あふれる好奇心で拾い集めたジワジワする日本語たち。言語や異文化を学びたい人は必読。でーれーBOOKS2025大賞。
感動	5	<b>コーヒーが冷めないうちに(川口俊和)</b> もし私だったら誰を…と考えさせられたり、知らない間に心が揺さぶられていく一冊です。(教員推薦)	青春	17	<b>俺たちの箱根駅伝(池井戸潤)</b> 寄せ集め集団が監督と選手一体となったチームに変わる姿と、生中継するテレビ局の舞台裏。両者を描く中で、相手を信じることの尊さ・信念を貫く強さと情熱を感じられる。(教員推薦)	その他(小説)	29	<b>彼女が遺したミステリ(伴田音)</b> 亡き恋人から届いた手紙。そこに書かれていたのは、「謎解き」だった。謎を解くたびに明かされていく、恋人の想い。感涙の恋愛ミステリー。	理系	43	<b>たった3分間のすごい世界(大崎章弘)</b> カップ麺が完成するまでの3分間で、いったい何が起こるのか。美しい写真とともに、3分間で起こる森羅万象を集めました。
	6	<b>永遠の0(百田尚樹)</b> 家族愛を描いた感動作。太平洋戦争の最前線で戦った、特攻隊についても詳しく知ることができます。(図書委員推薦)		18	<b>心臓の王国(竹宮ゆゆこ)</b> 17歳になったから、「せいしゅん」がしたい!前半の会話のテンポが最高。テンポの良い青春小説かと思いきや、後半のシリアス展開に胸が締め付けられる。		30	<b>D坂の殺人事件(江戸川乱歩)</b> 2025年は江戸川乱歩の没後60年。文豪が好きな方にはおすすめです。(図書委員推薦)		44	<b>センス・オブ・ワンダー(レイチェル・カーソン 森田真生)</b> 長く読み継がれてきた「センス・オブ・ワンダー」の新訳と、その続き「僕たちのセンス・オブ・ワンダー」が出ました。49ページの森田氏のエッセイをまず読むのがおすすめ。
	7	<b>ライオンのおやつ(小川糸)</b> 人が生きる意味を教えてくださいそうな、そして美味しそうな1冊です。(教員推薦)		19	<b>ヨンケイ!!(天沢夏月)</b> 4×100mリレー、いわゆる四継(ヨンケイ)。メンバーそれぞれが悩みを抱えるが、本気でぶつかり合ううちにチームにも変化が。信じて、走る。最高の青春小説。		31	<b>人間失格(太宰治)</b> 人間をうまくやれず、それでも人間を諦めきれなかった主人公が破滅していく物語。人間の弱さ、儂さが作品を通して学べる。(図書委員推薦)		45	<b>ブレイクスルー ノーベル賞科学者カタリン・カリコ自伝(カタリン・カリコ)</b> 新型コロナワクチン開発の立役者でノーベル生理学・医学賞受賞した科学者の自伝。困難や理不尽にも屈せず、自分の信念を貫く科学者からのメッセージ。
	8	<b>そして、バトンは渡された(瀬尾まこ)</b> 身近な人が愛おしくなる感動作。知らない間に涙が流れている。(教員推薦)		20	<b>ぼくは青くて透明で(窪美澄)</b> ぼくは、血の繋がらない継母の美佐子さんと二人暮らしをしている。勉強も運動も好きじゃない、空気みたいで過ごす。そんなとき、転校先の高校で、ぼくは彼に恋をした。		32	<b>赤ひげ診療譚(山本周五郎)</b> 江戸の診療所を舞台にした短編時代小説。現代に通じるDV・ネグレクト・多様な性的志向などのテーマを扱い、その内容に引き込まれる。(教員推薦)		46	<b>3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話(中野吉之伴)</b> 下手だから、諦めなきゃいけない?そんなことはない!ホケツとして何がいた経験があるからこそ、今の自分がある。好きなことを続けるチャンスに気づく本。
生きる・悩み	9	<b>手紙屋 蛍雪篇(喜多川泰)</b> 卒業までには読んで欲しい必読書。大袈裟だけど、人生の道標になる一冊だと思います。(教員推薦)	恋	21	<b>ハロルドとモード(コリン・ヒギンズ)</b> 孤独な青年ハロルドと、ルールに縛られることを嫌い自由で生きる79才の女性モードの出会い。ピブリオバトルでクラスチャンプ本に輝いた本の1冊。	現代社会	33	<b>宇喜多の捨て嫁(木下昌輝)</b> 暗殺、下剋上等悪いイメージのつよい直家ですが、なぜ悪役にならざるを得なかったのかをぜひ味わってほしい。高校生直木賞受賞作でもあります。(教員推薦)	スポーツ	47	<b>いままでとこれから(堀米雄斗)</b> 自分の人生を自分で決めて行動し、切り開いてきたことが伝わるフォトエッセイ。読書を通じて様々な人の人生に触れ、新たな「一歩」を踏み出してみよう。(教員推薦)
	10	<b>鹿の王(上橋菜穂子)</b> 命の神秘、大切な人を守る覚悟、正義と正義のぶつかり合い…。様々な人の生き様が複数の視点で描かれる壮大なストーリー。読んでみて損はない!(教員推薦)		22	<b>花東みたいな恋をした(坂本裕二・黒住光)</b> 大ヒットした映画の感動を、小説で味わってみませんか。すべての恋の思い出に捧ぐラブストーリー。		34	<b>チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもにきみはチョコレートをあげるか?(木下理仁)</b> 「もしも自分がそこにいたら?」と考える7つのエピソード。正解はないからこそ、想像力を働かせて相手のことを考えてほしい。でーれーBOOKS2025第2位。		48	<b>わたしたち、体育会系LGBTQです(田澤健一郎)</b> スポーツの「男らしさ」は正義なのか?「性」の悩みと葛藤を抱えて戦うアスリートの「恋」と「勝負」と「生きづらさ」とは。体験談から見えてくる、日本の現実。
	11	<b>ぼくが生きて、ふたつの世界(五十嵐大)</b> ろうの両親に生まれた「ぼく」は、やがて自分は世間から「障害者の子」と見られていることに気づく。聴こえる世界と聴こえない世界。ふつとは何か。本当の幸せとは。		23	<b>ぼくは明日、昨日のきみとデートする(七月隆文)</b> 文章が美しく、甘酸っぱくてキュンとするラブストーリーです。とても感動します。読めば読むほど面白い作品です。(図書委員推薦)		35	<b>きみのお金は誰のため(田内学)</b> 「お金」自体に価値はない。では、本当に価値のあるものは何か。読み終わると世界の見え方が変わる一冊。でーれーBOOKS2025第3位。		49	<b>けんごの小説紹介(けんご)</b> SNSで小説を紹介している著者が、読書の沼に引きずり込む88冊を紹介!次に読みたくなる本が、次から次に見つかりました。
	12	<b>モモ(ミハヤル・エンデ)</b> この本を読むと時間の捉え方が変わるかも…!(図書委員推薦)		24	<b>桜のような僕の恋人(宇山圭佑)</b> 夢を追う恋人同士に降りかかった運命。大切な人を想い続ける、珠玉の恋愛小説。		36	<b>大地の花束(渡邊明弘)</b> 交通事故が持ち去った息子の命。平穏な日々を切り裂いた悲劇をもう二度と繰り返さないために。2024年度の講演会の際に寄贈されました。		50	<b>あなたのための短歌集(木下龍也)</b> いま、こういう気持ちなんだ。こんなお題で短歌を作ってほしい。それに応える、あなたのための短歌集。パッと開いたページの短歌を楽しんで。